

POPを作ろう（２）

スーパーに掲示してあるようなPOPを、作ってみます。今回は、（１）でデザインしたPOPに、差し込み印刷を設定します。いろんな商品のPOPも、データがあれば、一気に印刷できます。

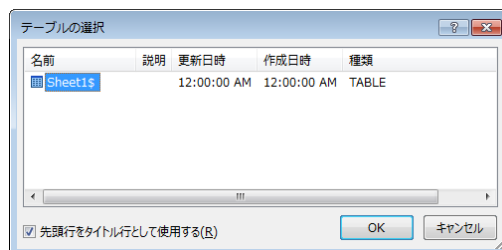
①エクセルを開いて、下図のような表を作成し、名前を付けて保存します。

（エクセルの使い方がわからない場合は、添付の「Word199sample.xlsx」を利用してください。）

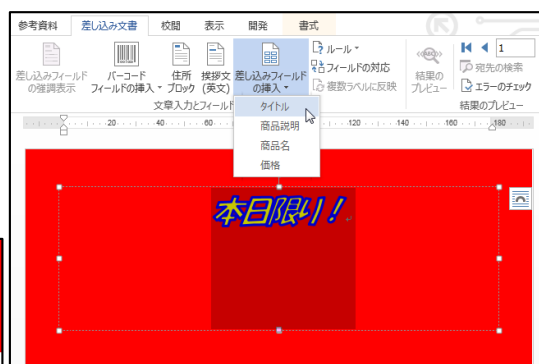
	A	B	C	D
1	タイトル	商品説明	商品名	価格
2	本日限り！	ヤスダ電機オリジナル	フロッピーディスク	3,980
3	チラシの品	一家に一台は当たり前	MSXパソコン	49,800
4	限定10セット	バックアップはこれで決まり	外付け光ディスク	500
5	大人気！	NEC伝説の名作	ワープロ「文豪」	54,000
6				
7				

②「POPを作ろう（１）」で作成したワードファイルを、開きます。

③「差し込み文書」タブ→「宛先の選択」→「既存のリストを使用」で、①で作成したエクセルファイルを指定します。「テーブルの選択」ウィンドウで、該当するシートを選んで「OK」。



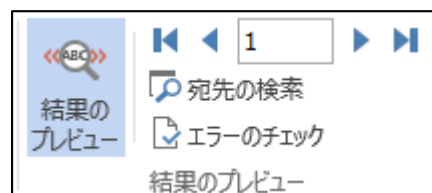
④「本日限り！」ワードアートの文字列を選択して、「差し込み文書」タブ→「差し込みフィールドの挿入」→「タイトル」を指定します。文字列が、「《タイトル》」というフィールド名に置き換わります。



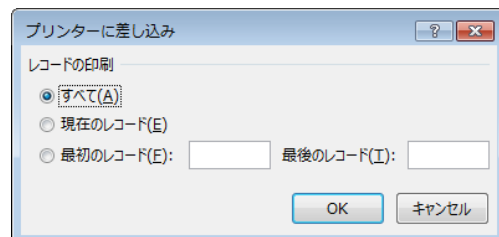
⑤同様にして、ほかのワードアートも、右図のようにフィールド名に置き換えます。



⑥「差し込み文書」タブ→「結果のプレビュー」ボタンを押してみましょう。▶や◀で、別のレコード（データ）も表示させてみます。ちゃんと内容が書き換わればOK。



⑦印刷するときは、「差し込み文書」タブ→「完了と差し込み」→「文書の印刷」で、印刷したいレコードを指定するだけ。



⑧文書を、別の名前を付けて保存しておきましょう。

[参考]

「《タイトル》」のように「文字の効果」→「変形」を用いたワードアートは、データの文字数が変わっても、その領域いっぱいに表示されます。

「《商品説明》」のように変形していないワードアートは、データの文字数が変わると、フォントサイズが変わらず、表示領域が左右に調整されます。

[発展学習]

(1)「《価格》」フィールドのデータは、もともとカンマ区切りされていたのに、差し込み文書にしたらカンマが消えてしまいました。ちゃんと、カンマ区切り形式で表示されるように、修正してみましょう。

①Alt+F9を押します。右図のような、妙な表示になりましたか。({~} は、フィールドコードと呼ばれる記号です。)



②「{MERGEFIELD 価格 }」の「価格」の後ろに、「¥# #,##0」と入力してください。フィールドコードは、「{MERGEFIELD 価格 ¥# #,##0}」となります。
 (「¥#」のうしろに半角空白が入ります。「数値の表示形式は…」というスイッチ。)



③Alt+F9を押して、フィールドコードの表示を終了します。

(2) ほかのデザインでも、差し込み文書を作成してみましょう。